

新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）
及び新規上場申請のための四半期報告書の適正性に関する確認書

平成 30 年 3 月 15 日

株式会社東京証券取引所

代表取締役社長 宮原 幸一郎 殿

会 社 名	HEROZ株式会社
代 表 者 の	代表取締役CEO
役 職	
氏 名 (署名)	林 隆 弘

当社の代表取締役 CEO である林隆弘は、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書に不実の記載がないものと認識しております。

1. 新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書作成にあたり「企業内容等の開示に関する内閣府令」、「連結財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」及び「四半期連結財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」等の関係法令に準拠し、全て重要な点において適正に記載されていることを確認しております。
2. 新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書作成においては、業務分掌と所轄部門を明確にしており、各責任部門において適切な業務体制が整備されていることを確認しております。
3. 定時取締役会及び必要に応じて開催する臨時取締役会において、重要な経営情報及び業務の進捗情報が適切に報告されるとともに、経営上の重要事項の意思決定が行われております。
4. 監査等委員である取締役は、取締役会への出席、監査等委員監査の実施等を通じて、取締役会の意思決定及び取締役の職務執行が適切に行われていることを確認しております。
5. 内部監査担当は、監査及び報告の独立性を確保した上で、内部管理体制の適正性や有効性を定期的に監査しており、指示事項及び改善状況等について、その結果を代表取締役 CEO へ適宜報告しております。
6. 会計監査人である有限責任監査法人トーマツによる監査において、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）及び新規上場申請のための四半期報告書の記載内容について、重要な指摘事項がないことを確認しております。

以上